

### 3 重点項目（特に増客効果大きいと考えられる項目）

担当局	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
総合企画局	5	山ノ内浄水場の跡地利用の推進	山ノ内浄水場跡地について「京都市山ノ内浄水場跡地活用方針」に基づき大学を中核に複合的な用途の施設を誘導し、本市西部地域はもとより市全体の活性化や地下鉄増客に資する活用を図るための取組を推進する。	<p>○平成26年度 （北側）跡地活用事業者の選定、基本協定締結 跡地活用事業者：学校法人大和学園、社会福祉法人太秦病院</p> <p>○平成27年度 （南側）京都学園大学京都太秦キャンパスの開設（約1,200人が通勤、通学） （北側）契約締結・用地の引渡し（7月）調理・製菓の専門学校及び病院の第1期（1,400人規模）開設に向け施設整備を支援</p> <p>○平成29年度 （北側）病院の第1期（200人規模）の開設</p> <p>○平成30年度 （北側）調理・製菓の専門学校第1期（1,200人規模）の開設</p>
	9	地下鉄北山駅周辺地域の活性化	植物園や府立大学、総合資料館等さまざまな文化施設が集積する北山地域（北山文化環境ゾーン）の整備を行う京都府と協調し、京都コンサートホールや商店街、地元の関係団体等とも連携した地下鉄北山駅周辺地域の活性化に取り組むことで、更なる地下鉄・市バスの増客を図っていく。	<p>○平成26年度 ・府市協調による取組の推進 ・「地下鉄北山駅周辺地域の活性化ワーキング・グループ会議」（庁内会議）を開催 ・「北山文化環境ゾーン交流連携会議」への参画 （参考 府の動き：京都府立植物園90周年、新総合資料館整備）</p> <p>○平成27年度 ・府市協調による取組の推進 ・「北山文化環境ゾーン交流連携会議」への参画 ・「北山文化環境ゾーン交流連携会議」において、「北山月間～10月は北山が面白い！～」イベントスタンプラリーを開催（9月27日～10月25日） 参加者数：420人</p>
	10	東部クリーンセンターの跡地活用の検討	地下鉄駅に近接している東部クリーンセンターの跡地について、市民の皆様からの御意見や地下鉄の増客の視点も踏まえ、京都の活性化のために活用するよう検討を進める。	○平成27年度 民間事業者等から提案を頂き、跡地活用事業を推進
	11	岡崎地域活性化ビジョンの推進	平成22年度に策定した「岡崎地域活性化ビジョン」に掲げる将来像の1つである「歩いて楽しい祝祭と賑わいの空間」づくりに向け、官民地域連携のエリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」を中心に、地域を挙げての催しや魅力づくり、エリア全体での情報発信など、地下鉄・市バスの利用促進につながる賑わい創出に取り組む。	<p>○平成26年度 ・岡崎エリアの総合的な案内・情報発信 ・「京都岡崎ハレ舞台」の開催（協議会主催事業の来場者数：約24万6千人）</p> <p>○平成27年度 ・地域連携型魅力創出事業の実施（協議会主催の主な事業の来場者数約11万2千人（京都岡崎ハレ舞台、岡崎ときあかり）） ・岡崎公園内での市電車両の設置・活用等による岡崎エリアの総合的な案内・情報発信の強化</p>
	12	京都駅西部エリアの活性化	平成26年度策定の「京都駅西部エリア活性化将来構想」に基づき、梅小路公園をはじめ、多彩な地域資源が集積する京都駅西部エリアの活性化を推進する。エリア内の施設・団体、事業者等、多様な地域主体との連携のもと、様々な媒体による地域の魅力情報の発信や回遊性向上に資する取組、新たな集客につながるイベント等を実施し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	<p>○平成26年度 ・京都駅西部エリア活性化将来構想を策定 ・地域連携事業を実施（京都駅西部エリアの魅力情報の発信等）</p> <p>○平成27年度 京都駅西部エリア活性化将来構想の推進 ・エリアマネジメント組織の設立 ・エリアの魅力情報の発信、イベント開催等</p>
14	国立京都国際会館の拡充整備に向けた取組	国への要望とオール京都の協力体制の構築により、国立京都国際会館への5,000人規模の多目的ホールの早期整備を実現し、大規模国際会議をはじめとするMICEの推進を図る。	<p>○平成27年度 ・国家予算等に関する要望・提案の実施（6月）</p> <p>（国の動き） ○平成26～27年度 ・新施設（2500人規模）の設計着手 ○平成27～30年度 新施設の工事着手</p>	

担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
文化市民局	13	京都会館再整備事業	文化芸術活動の拠点となるとともに岡崎地域の活性化にも寄与するよう、平成28年1月の開館を目指して再整備に取り組んでいる。再整備後は、舞台機能が向上したホールに加え、新しい憩いの場となるカフェなどの賑わいスペースの設置を予定している。また、オープニング・プレ事業及び開館から1年間にわたるオープニング事業の実施を予定している。	<p>○平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニング事業の発表(9月)</li> <li>・プレ事業として、小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトを開催(平成27年3月26日)</li> </ul> <p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竣工(8月)、プレ事業の実施(9月12日 小澤征爾音楽塾二条城特別演奏会 参加者数400人)、開館(1月10日)、オープニング事業の実施(1月～)</li> </ul> <p>○平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニング事業の実施(～12月)</li> </ul> <p>○平成29年度以降</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術事業の実施</li> </ul>
	16	琳派400年記念事業	平成27年(2015年)は、本阿弥光悦が徳川家康から鷹峯の土地を拝領した元和元年(1615年)から400年目に当たり、いわば「琳派400年」というべき記念すべき年になる。この記念すべき年に、京都を挙げて、文化芸術と産業等のエネルギーを結集することにより、京都のまち全体の活性化を目指す。	<p>○平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングイベント『琳派400年記念祭「開幕記念フォーラム」』(1月31日)</li> <li>・「琳派400年記念 新鋭選抜展」(1/24～2/8)、京都文化博物館</li> </ul> <p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・琳派400年記念祭の実施</li> <li>・京都国立博物館展覧会(10～11月)</li> <li>・国際フォーラムの実施(11月)</li> <li>・京都市美術館展覧会(1～2月)</li> </ul>
	22	美術館における展覧会の開催	美術館主催・共催の魅力ある展覧会を開催するとともに、市バス・地下鉄を利用した交通案内を実施し、その利用促進を図る。(広報用チラシ及び案内人による案内の両面にて努める。)	<p>○平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バルテュス展(7/5～9/7)</li> <li>・ボストン美術館展(9/30～11/30)</li> </ul> <p>26年度の入場者数521,542人(内海外展210,410人)</p> <p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーヴル美術館展((6/16～9/27)</li> <li>・マグリット展(7/11～10/12)</li> <li>・フェルメールとレンブラント展(10/24～1/5)</li> <li>・モネ展(3/1～5/8)</li> <li>・ルノワール展(3/19～6/5)</li> </ul> <p>4月～9月の入場者数811,123人(内海外展606,322人)</p>
	23	美術館再整備事業	京都市美術館は、開館以来、日本の美術・文化振興に大きな役割を果たしてきた。しかしながら、美術館を取り巻く状況は時代とともに、変化しており、ソフト・ハード両面からの検討が必要である。こうした現状を踏まえ、京都市美術館が今後とも、国内外を問わず多くの人々を魅了し、世界に誇れる美術館となるよう、求められる役割や目指すべき美術館像を明らかにするとともに、時代の変化に適應した機能・施設の充実等について検討を行っていく。	<p>○平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備基本計画の策定</li> </ul> <p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本館及び新館の基本設計(8月～)</li> <li>・同地の埋蔵文化財調査</li> </ul>
	26	新京都市動物園構想の推進	平成21年11月に策定した新「京都市動物園構想」に基づき、「心の教育」と「環境学習」を柱に生涯学習施設として、子どもから高齢者まですべての世代に「喜び・安らぎ・癒し」を与え、「感動・交流・学習」する施設として27年度末まで再整備、動物舎、利便施設等の新設、園路整備等を行う。動物園整備の進捗に応じて集客増が図れるとともに、その効果として地下鉄蹴上駅、東山駅の利用者増も見込める。	<p>○平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾウの森の一部オープン(2月)</li> <li>・ラオスから寄贈された子ゾウの披露(2月)</li> </ul> <p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾウの森(7月)、京都の森(9月)、学習・利便施設(7月)のオープン</li> </ul> <p>来園者数 523,107人(4月～9月)</p>
	27	元離宮二条城におけるイベントの開催及びアクセス紹介	元離宮二条城において、魅力あるイベントを開催するとともに、市民しんぶん等において、市バス・地下鉄を利用した来城方法を分かりやすく周知し、その利用促進を図る。また、元離宮二条城出口に市営地下鉄二条城前駅への進路案内板を常時設置しており、引き続き地下鉄の利用促進に努める。	<p>○平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「築城400年記念 展示・收藏館」展(年間4回)</li> <li>・二条城まつり(10月18日～3月1日)</li> <li>・アートアクアリウム城(10月24日～12月14日)</li> <li>・ライトアップ(3月21日～4月13日)</li> </ul> <p>年間入城者数 1,628,798</p> <p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「築城400年記念 展示・收藏館」展(年間4回)</li> <li>・二条城まつり(10月17日～12月14日)</li> <li>・アートアクアリウム城(10月23日～12月14日)</li> <li>・ライトアップ(3月20日～4月12日)</li> </ul> <p>入城者数 965,849人(4月～9月)</p>
31	京都マラソンの開催	市民スポーツの振興のみならず、高い経済波及効果や都市ブランドの更なる向上が見込める京都マラソンを開催する。	<p>○平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年2月15日開催</li> <li>・出走者数:16,236人</li> <li>・携わった人数:53万1千人</li> </ul> <p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年2月21日開催</li> </ul>	

担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
産業観光局	6	KYOTO CMEX (KYOTO Cross Media Experience)	京都が持つ、マンガ・アニメ、映画・映像、ゲーム等のコンテンツのポテンシャルと魅力を国内外に発信するとともに、これらのコンテンツ産業を支える人材育成・人材交流を図ることを目的としたイベントを実施する。	○平成26年度 京都国際マンガ・アニメフェア来場者数： 40,576人 オフィシャルイベント総来場者数： 64,215人  ○平成27年度 京都国際マンガ・アニメフェア来場者数： 36,951人
	8	「修学旅行1dayチケット」のPRと発売	修学旅行誘致と市バス・地下鉄の新規旅客獲得を一体的に行うことを目的に多彩な優待内容を満載した「修学旅行パスポート」機能を合わせた修学旅行専用の同チケット販売促進に向けたPRを行う。	○平成26年度 販売部数：91,487枚  ○平成27年度 販売部数：63,717枚(9月末時点)
	13	京の七夕	「一年に一度、願いごとをする」という七夕にちなんで「願い」をテーマに旧暦の七夕に開催、「堀川、鴨川を竹や光で幻想的に演出し、京都ならではの七夕を表現する。	○平成26年度 開催期間：平成26年8月2日～11日 (9,10日は台風のため中止) 総来場者数 65万1千人  ○平成27年度 開催期間：8月1日～10日 総来場者数 76万1千人 ※堀川会場のみ 32万1千人
	14	東山花灯路	東山地域の寺院・神社をはじめとする歴史的文化的遺産、白壁や石畳、門前町などのまち並みを生かし、日本情緒豊かな露地行灯の「灯り」といけばな作品の「花」による演出により、春の訪れを魅力的に表現する。	○平成26年度 開催期間：平成27年3月6日～3月15日 総来場者数：112万8千人  ○平成27年度 開催期間：平成28年3月12日～21日
	15	嵐山花灯路	嵯峨・嵐山地域の自然、水辺空間、竹林や歴史的文化的遺産、景観など地理的諸条件を生かし、日本情緒豊かな露地行灯の「灯り」といけばな作品の「花」による演出により、初冬の季節感を魅力的に表現する。	○平成26年度 開催期間：平成26年12月12日～21日 総来場者数 92万9千人  ○平成27年度 開催期間：平成27年12月11日～20日

担当局	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
都市計画局	3	空き家対策推進事業	「地域の空き家相談員」等による総合的なコンサルティングを行うほか、地域連携型空き家流通促進事業や支援制度の創設等により、空き家所有者の活用意向を引き出すとともに、空き家化の予防や適正管理の推進等、空き家対策を総合的に推進する。	○平成26年度 ・「京都市空き家の活用、適正管理等に関する条例」の施行(4月) ・「地域の空き家相談員」の登録 ・地域連携型空き家流通促進事業の拡充・実施 ・空き家活用・流通支援等補助金制度の創設 ・「空き家活用×まちづくり」モデル・プロジェクト制度創設  ○平成27年度 ・京町家クラウドファンディング活用事業
	8	エコ・コンパクトな都市に向けた土地利用の促進	本市の都市計画の基本的な方針となる都市計画マスタープランに示されている土地利用の方針に基づき、エコ・コンパクトな都市を実現するために、地下鉄をはじめとする公共交通拠点周辺における都市機能の集積や充実を目的として、「地域地区の見直しに関する方針」を検討したうえで用途地域等の見直しを行う。	○平成26年度 ・京都市駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会の開催(9月、10月、11月、3月) ・駅周辺における地域地区の見直し案に対する市民意見募集(73件)  ○平成27年度 ・都市計画マスタープランの推進 ・用途地域等の都市計画の見直しを行う。(公聴会の開催、縦覧・意見書の受付)
	9	「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進	平成22年1月に策定した「歩くまち・京都」総合交通戦略について、総合的な推進及び点検を図る全庁挙げた「歩くまち・京都」推進本部を設置するとともに、実施プロジェクトの進捗を点検し、社会情勢の変化も踏まえた戦略の充実や見直しを検討するため、関係団体、学識経験者、関係行政機関で構成した「歩くまち・京都」推進会議を設置し、推進を図る。	○平成27年度 ・「歩くまち・京都」推進本部会議の開催(12月、3月) ・「歩くまち・京都」推進会議の開催(6月) ・戦略の効果検証のための調査・分析
	12	歩いて楽しいまちなか戦略	京都の活力と魅力が凝縮した歴史的都心地区(四条通、河原町通、御池通、烏丸通に囲まれた地区)を中心とした「まちなか」において、四条通の歩道拡幅や公共交通優先化をはじめとする、安心・安全で快適な歩行空間の確保と賑わいの創出など、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちづくり」を推進する。	○平成26年度 ・四条通の歩道拡幅と公共交通優先化に向けた工事着工(11月17日)  ○平成27年度 ・四条通の歩道拡幅と公共交通優先化に向けた工事完成(10月末)  ○平成28年度以降 ・「まちなか」において人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちづくり」を推進
	18	崇仁地域のまちづくり	「京都市崇仁地区将来ビジョン検討委員会」からの報告書を踏まえ、住宅地区改良事業を早期完了させるため、土地地区画整理事業との合併施行を推進するとともに、「創造・交流・賑わいのまち」の実現に向けた、市民、民間事業者、NPO、京都市立芸術大学などの多様な主体の参画によるまちづくりを推進する。	○平成26年度 ・土地区画整理事業(都市計画変更、施行規定一部改正、北部第2地区事業計画決定) ・住宅地区改良事業(崇仁市営住宅塩小路高倉3棟(仮称)建設工事着工)  ○平成27年度 住宅地区改良事業 ・崇仁市営住宅塩小路高倉新3棟(仮称)しゅん工 ・崇仁市営住宅(第21~27号棟)代替基本計画策定着手
20	三条京阪駅周辺地域の活性化	都市計画マスタープランにおいて、商業・業務機能の立地誘導、多様な都市機能の集積を図る地域として位置付けている三条京阪駅周辺について、地下鉄をはじめ交通至便な立地環境にある地域のポテンシャルを最大限に生かした土地活用となるよう、三条鴨東地区の改良事業計画の見直しも含め、魅力あるまちづくりを進める。	○平成26年度 住宅地区改良事業計画変更を実施。  ○平成27年度 住宅地区改良事業計画に基づき、買収交渉・将来的な土地活用の方向性についても検討を進める。	

担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
建設局	4	京都駅南口駅前広場の整備	本市最大のターミナル駅である京都駅の南口駅前広場について、年間5,000万人を超える観光客が訪れる国際文化観光都市・京都の玄関口にふさわしい交通結節機能の向上や、安全で快適な歩行者空間の創出など、利用者の視点に立った広場の整備を行う。	○平成26年度 ・駅前広場整備工事着工(11月) ・機械式地下駐輪場供用開始(2月)  ○平成27年度 ・駅正面の拠点広場デッキ完成(プレオープン)予定(3月)  ○平成28年度 ・駅前広場整備工事完成予定
	10	左京岡崎における神宮道と公園の再整備	神宮道(冷泉通～二条通)を歩行者のための空間とし、隣接する公園と一体的に再整備するとともに、ルームシアター京都と一体性をもたせることにより、創造的で豊かなオープンスペースや優れた景観の形成、安全性と回遊性の向上を図る。	○平成26年度 実施設計完了  ○平成27年度 9月に公園と道路の供用を開始
	12	高瀬川周辺一帯の魅力ある水辺づくり	高瀬川は、石積護岸の老朽化が著しく、水枯れがたびたび発生し、良好な水辺環境の保全が困難な状況になったため、護岸の補修工事を実施する。実施に際しては、高瀬川の景観に重要な役割を果たしている街路樹のサクラやヤナギ等に配慮した整備を行うとともに、沿川における他事業や地域との連携も含め、周辺一帯の魅力ある水辺づくりを目指す。	○平成26年度～ ・改修工事(三条通～車屋橋) ・高瀬川開削400周年の地元イベント開催  ○平成27年度 改修工事(車屋橋～備前島橋)  ○平成28年度 改修工事(備前島橋～四条通)
北区	3	柘野学区におけるモビリティ・マネジメントの推進	地域と地元京都産業大学との連携のもと、北区役所・交通局も協働して、「柘野地域における公共交通利用促進会議」を発足させ、地域の方が主体的に地域の公共交通のあり方を検討し、その利用促進を図る取組を進める。	○平成26年度 ・柘野地域・バス利用促進ワークショップの開催(7月、8月) ・柘野地域・市バス特37号沿線おでかけマップ・ニュースレターの作成・配布(11月発行4,000部)  ○平成27年度 ・柘野地域における公共交通利用促進会議の開催 ・地域イベントにおける啓発活動 ・ニュースレターの作成・配布(予定) ・市バス特37号沿線おでかけマップの増刷(予定)
山科区	4	山科・感動ツーリズム推進事業	地下鉄東西線の乗客増と山科地域の観光活性化を図るため、地元住民と行政、交通事業者等との協働の下、山科地域の潜在的な観光資源の掘り起し、磨き上げを行う。	○平成26年度 ・毘沙門堂 紅葉のライトアップ・夜間拝観(11月15日～30日)  ・やましな大冒険:区内各地で、11回のプログラムを実施  ・感動! やましな サポータークラブの結成:会員情報と利用時の特典付のマップを配布(10月11日～)  ・感動! やましな まるごとマルシェ(随心院:11月15日、16日、東野公園:12月13日、2月21、22日)  ・感動! やましな プレゼントラリー(10月11日～12月31日)。  ・感動! やましな まちバル(11月15日～30日)  ○平成27年度 ・山科の観光資源・地域資源をPRするため、効果的な広報を実施する。(リーフレット、ポスター作成)
伏見区	10	久我・久我の杜・羽東師地域におけるモビリティ・マネジメントの推進	地域住民の意識と行動に直接働きかけ、過度なクルマ利用を控え、歩くこと、公共交通等を利用することへの転換を促す取組であるコミュニケーション施策(モビリティ・マネジメント)を、久我・久我の杜・羽東師地域において実施する。	○平成26年度 ・ワークショップ開催(3回開催) ・啓発チラシの作成・配布(3回) ・神川出張所において、主要なバス停時刻表を配架  ○平成27年度 引き続き、啓発チラシを配布するとともに、神川出張所で時刻表を配架



担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
交通局	11	駅ナカビジネスの積極的な展開	駅構内の配置を見直すことにより、活用可能な公共空間を最大限創出するとともに、民間のノウハウも活用して積極的に取組を展開する。	○平成26年度 ・コトチカ山科のオープン(10月) ・丸太町駅構内店舗のオープン(12月)  ○平成27年度 ・コトチカ御池の拡充(4店舗の新規開業 1月) ・コトチカ京都の拡充準備 ・今出川駅構内店舗の開業(11月) ・コトチカ四条のリニューアル
	15	区役所・支所等と連携した取組の推進	地下鉄5万人の増容目標の達成に向け、区役所・支所と連携して、区からの情報発信により、区外から集客できるような取組を展開する。また、各局区等のイベントにブース出展することにより、地下鉄の利用を促進する。	○平成26年度 ・中区、下京区:高瀬川開削400周年記念事業との連携(8月～11月) ・山科区:京都・やましな観光ウィークとの協同PR(11月) ・区役所ふれあいまつり等イベントへの出展(16件) ・伏見区役所:地下鉄駅発! 京都エリアウォーク 京都あるく第一弾「くいな橋から歩く」における連携(3月)  ○平成27年度 ・各区役所訪問の実施(6月) ・各区ふれあいまつり等への参加(8件 9月末現在) ・地下鉄駅発! 京都エリアウォーク 京都あるく第二弾「北山から歩く」との連携(10月24日実施、北区・左京区)
	19	沿線大学との連携による地下鉄利用促進策の推進	沿線大学との連携により、地下鉄・市バスなどの公共交通の利用促進や駅周辺地域の活性化を促進する。	○平成26年度 京都学園大学 ・協定締結(4/28) ・大学のPRキャラクター「太秦その」とのコラボレーションによる共同PRの実施 ・右京区役所でのシンポジウム開催(10/18)  平安女学院大学 ・協定締結(3/25)  ○平成27年度 平安女学院大学 ・駅ごとの情報誌「キュンキュン京都」の発行(7, 9, 10, 11月)
	22	北山延伸25周年記念事業の実施	平成27年10月に、烏丸線北山延伸25周年を迎えるのを記念して、北山周辺施設(京都府立植物園、京都コンサートホール等)や地域(北山街協同組合)との協働により、北山駅周辺地域の活性化を図る取組を展開することにより、地下鉄増容につなげる。	○平成27年度 北山駅周辺施設と連携し、「地下鉄烏丸線北山延伸25周年記念祭 地下鉄に乗って北山に行くっ」を植物園で開催(10月24日) 植物園入場者数:11,000人
	24	地下鉄駅発! 京都エリアウォーク 京都あるくの実施	地下鉄の増容と駅周辺地域の魅力を伝えることを目的に、地下鉄駅を起点としたウォーキングイベントを実施する。	○平成26年度 第1弾「くいな橋から歩く」を実施(平成27年3月21日) 参加者数:402名  ○平成27年度 第2弾「北山から歩く」を実施(平成27年10月24日) 参加者数:202名
	35	地下鉄のダイヤ見直しの検討	地下鉄の更なる利用促進と利便性向上のため、終電の延長も含め、ダイヤの見直しを検討する。	○平成26年度 増容に向けた地下鉄ダイヤ見直しの検討 9月21日 烏丸線ダイヤ改正実施(混雑緩和の為、午前時間帯に一往復増便)  ○平成27年度 10月2日～ 烏丸線・東西線 金曜日に30分の終電延長を実施
	38	「地下鉄道しるべ」事業の推進	駅までの経路等を示す案内表示の看板やパネル、ラミネートシート等を交通局が作成し、駅周辺の商店等にご協力いただき無償で設置・掲出する。	○平成26年度 東山駅の案内サインを神宮道商店街の3店舗に設置(12月)  ○平成27年度 二条城前駅にて2店舗(6月～)、東山駅にて1施設(7月～)に設置
	49	海外からのお客様へのサービス向上	急増する外国人観光客が、市バス・地下鉄を御利用される際の利便性を向上させるため、コミュニケーションツールや観光マップの充実等に取り組む。	○平成27年度 ・市バス観光マップ「バスなび」(中国語・韓国語版)の配布(10月下旬～) ・市バス全車に4か国語対応コミュニケーションボードの配備(11月中旬～) ・地下鉄主要3駅などに翻訳機能付タブレットを配備(11月中旬～)